

令和6年度第1回広島地方労働審議会議事要旨

審議開始日

令和6年7月1日

議決日

令和6年7月23日

(持ち回り審議による。)

議題

「呉市地域雇用創造計画」について

議事概要

第1回広島地方労働審議会は、持ち回り審議により開催され、「呉市地域雇用創造計画」については、全会一致で概ね妥当と認める。

なお、議題について委員から提出された御意見等は、以下のとおりです。

～公益代表委員～

○野北委員

概ね妥当であると認める。

- ・若者、とりわけ男性の呉地域への就職者の増加は、高専や工業大学との連携促進を含めて、長期的戦略が必要と考えられる。一方、女性については、家庭の事情等による制約から域外移動が少ないと考えられ、各事業で女性の参加を促すことで、短期的成果が得られやすいのではないかと。
- ・商工業に重点を置くことは重要であるが、呉は、医療関係機関が多いこと、女性の求職者が多いことを考えれば、医療事務の資格取得促進となるような講座の開設も効果的ではないかと。

○久行委員

概ね妥当であると認める。

○手塚委員

概ね妥当であると認める。

ミスマッチの原因が把握されている点、企業の魅力を発信するという取り組みを行う点は良いと思う。特に、製造業に就職をする若者を確保するために、就学段階でその分野へ就職を誘導する取り組みがあるとさらに良いと思う。

○岩崎委員

概ね妥当であると認める。

呉の雇用減とミスマッチは構造的な問題であり、セミナーや講座は妥当とは思いますが、それだけではなかなか解決は難しいとも思う。提示の事業に加え、より踏み込んだ施策を呉市には期待したい。

○村上委員

概ね妥当であると認める。

地域の現状と課題を詳細に分析し、前回採択事業からの改善点を踏まえた上で、重点分野を定めるとともに具体的な事業が提案されていることから、本計画は概ね妥当であると認める。

特に、前回採択事業からの改善点として、「ICT人材の育成が地方特有のデジタル化への抵抗感や不安感から都市部と比べて進んでいない」ことを指摘した上で、本計画では、雇用者向けの「ICT人材育成講座」や「就職のためのパソコン講座（初級・中級）」と、事業者向けの「選ばれる企業になるためのセミナー」や「NC工作機械技術者養成セミナー」などを実施し、雇用者・事業者双方のデジタル化への抵抗感や不安感を減らすことを目指している点は高く評価できる。なお、「選ばれる企業になるためのセミナー」の内容欄にはデジタル化という言葉をもう少し入れても良いのではないか。例えば、「アフターコロナにおいてDX化や持続可能な社会・経済の構築が重要視されている。そのためDX化やSDGsの重要性を再確認できるよう、実際にDXやSDGsが進んでいる企業への見学を行う。これにより、ワークライフバランスを改善し、従業員の働きやすい環境を作るためのテクニックを学び、生産性の向上につなげる。」など。

また、資料「別添1 呉市地域雇用創造計画」のp.2「前回採択事業からの改善点」の7行目「…といった課題に残った。」は「…といった課題が残った。」ではないか。

○松本委員

概ね妥当であると認める。

法律に基づいて行う事業であるため、施策が限定されてしまうことは仕方ないことと思います。

呉市での就業者を増加させるための施策としては、外堀を埋めるような内容にならないと得ないと思います。

呉市での就業者を増やす＝雇用条件の改善＝給与増加 と考えると各企業が給与をアップできるような施策を呉市が行う必要があるのではないかと考えます。

～労働者代表委員～

○大野委員

妥当と判断します。

○亀井委員

概ね妥当であると認める。

○本地委員

概ね妥当であると認める。

○藤井委員

概ね妥当であると認める。

～使用者代表委員～

○出町委員

概ね妥当であると認める。

○田中委員

概ね妥当であると認める。

○宮崎委員

概ね妥当であると認める。

○休石委員

概ね妥当であると認める。

人口減少率が全国平均と比べてもかなり大きいことや、14歳までの若年層割合が1桁となる事を考えても早急に何かすべきかと考えます。

○竹内委員

概ね妥当であると認める。

○巢守委員

概ね妥当であると認める。